

決算説明会

2009年3月期第1四半期

2008年7月31日

ミネベア株式会社



1Q連結業績ハイライト

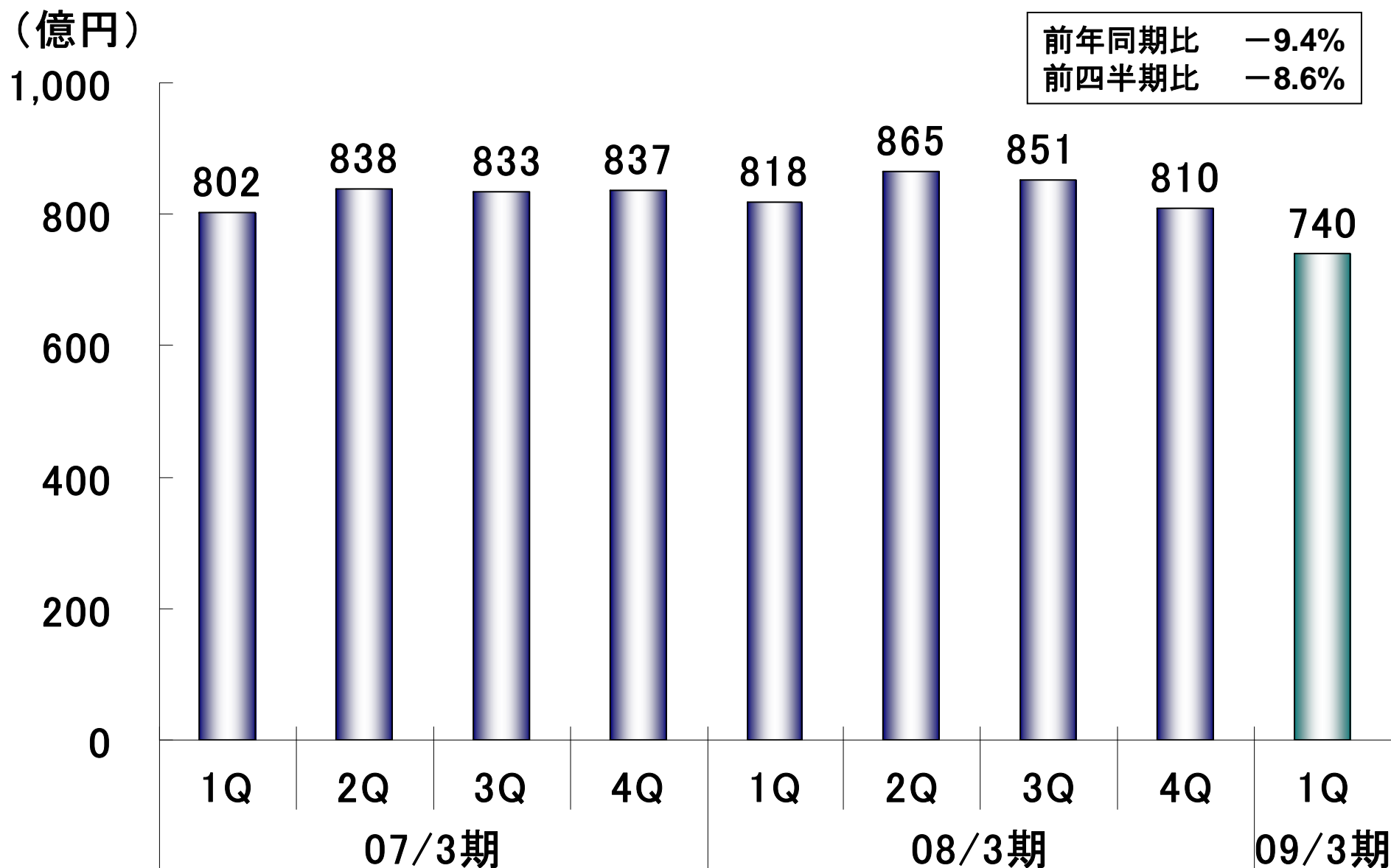
・為替の悪影響、原材料高などにより減収減益

(百万円)	2008年3月期		2009年3月期	前年同期比	前四半期比
	1Q	4Q	1Q	伸び率	伸び率
売上高	81,766	81,042	74,041	-9.4%	-8.6%
営業利益	7,115	7,286	5,083	-28.6%	-30.2%
経常利益	6,252	6,999	4,685	-25.1%	-33.1%
税引前利益	5,476	6,055	4,057	-25.9%	-33.0%
四半期純利益	3,133	3,775	2,635	-15.9%	-30.2%
一株当たり 四半期純利益(円)	7.85	9.46	6.60	-15.9%	-30.2%

為替レート	08/3期1Q	08/3期4Q	09/3期1Q	備考
US\$	119.85円	108.44円	103.36円	()内は、タイ中央銀行発表オンショア・レート。 タイの短期資本流入規制は、2008年3月に撤廃されたため、これ以後、オンショア・レートとオフショア・レートとの大きな乖離は存在しなくなりました。
ユーロ	161.22円	161.16円	161.48円	
タイバーツ	3.70円 (3.44円)	3.60円 (3.29円)	3.24円	
人民元	15.55円	15.06円	14.72円	

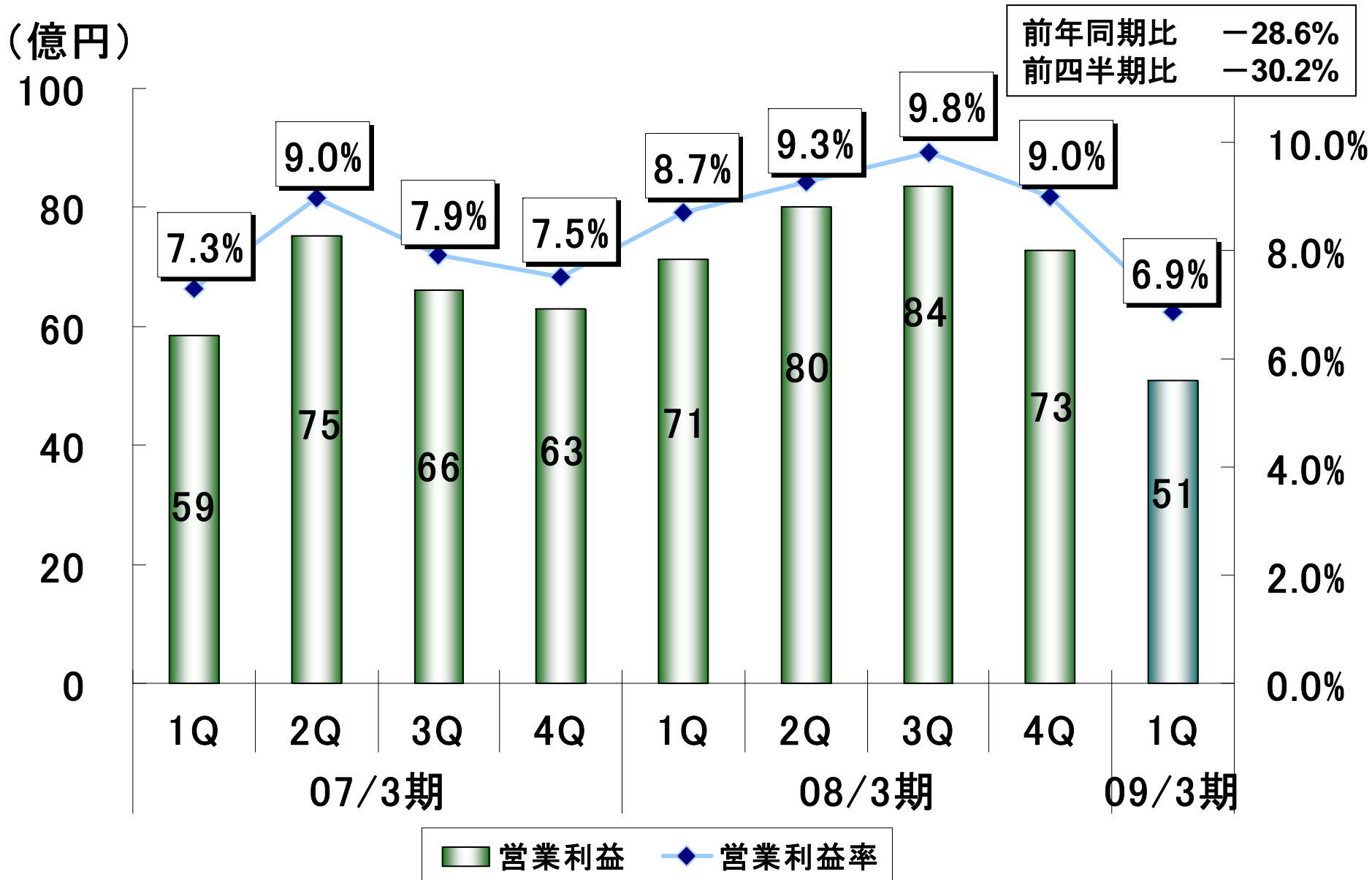
四半期推移

売上高

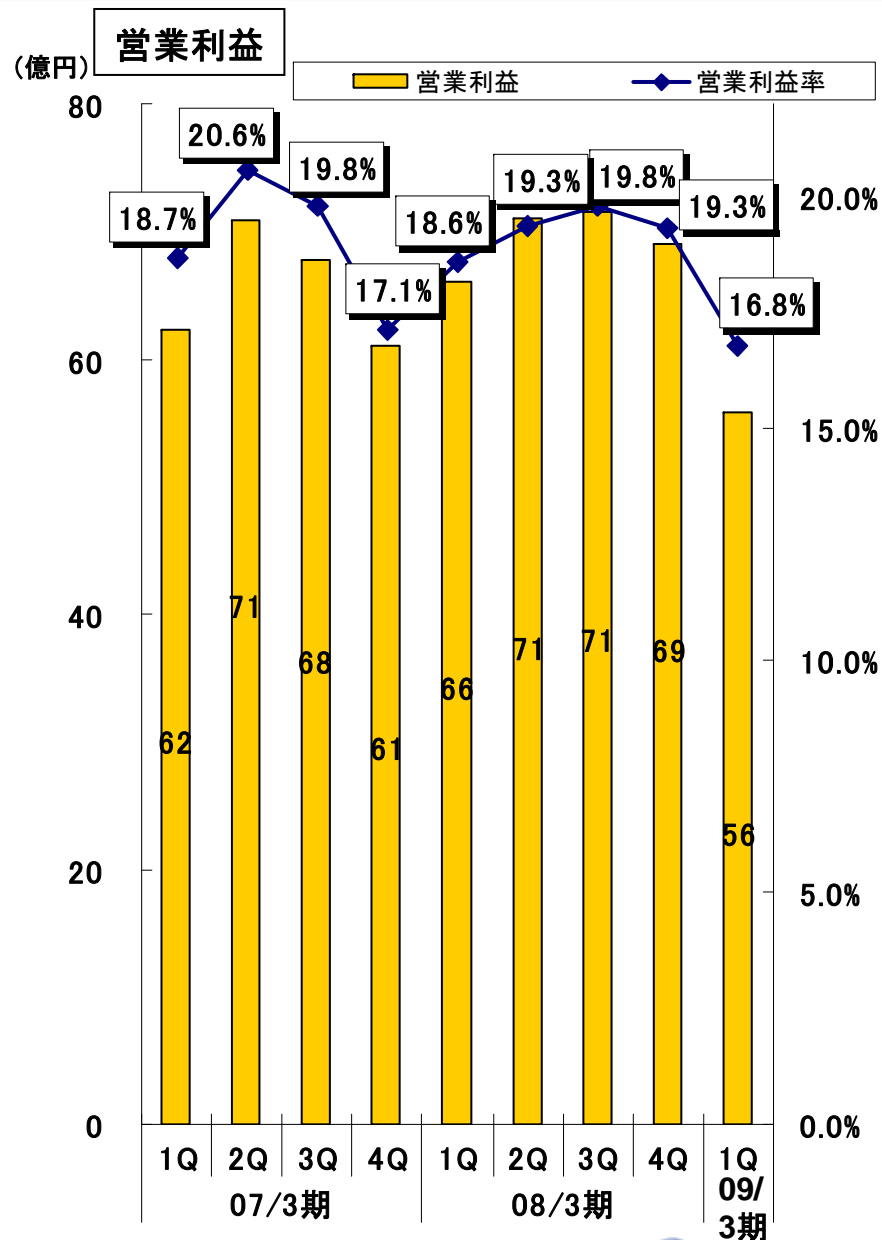
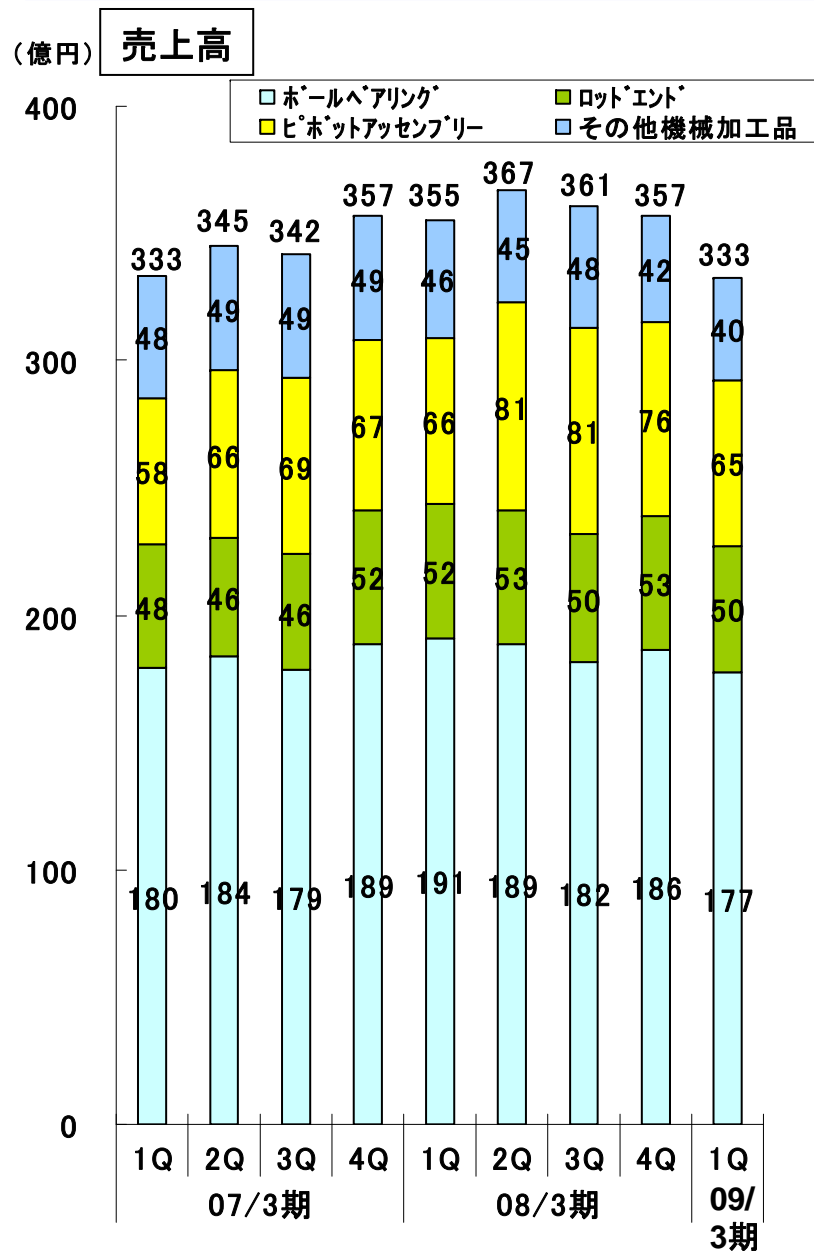


四半期推移

営業利益

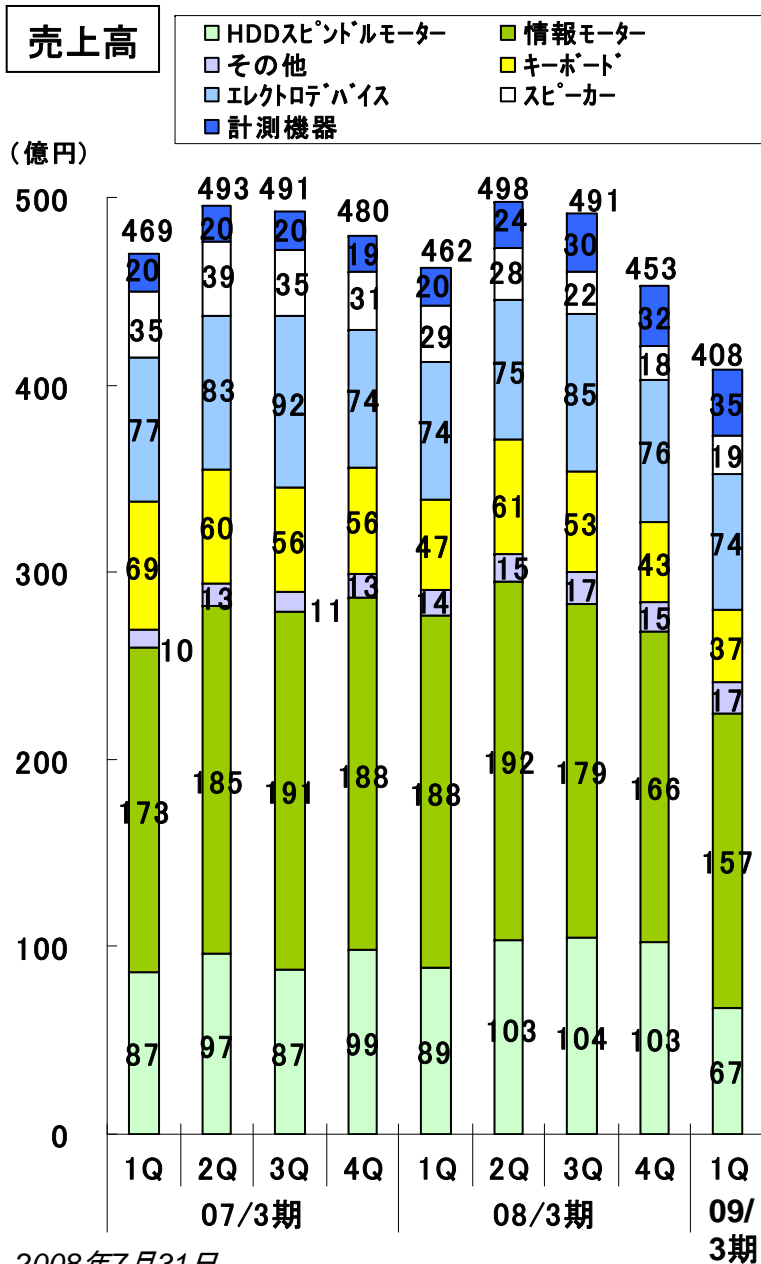


セグメント別四半期推移 機械加工品事業

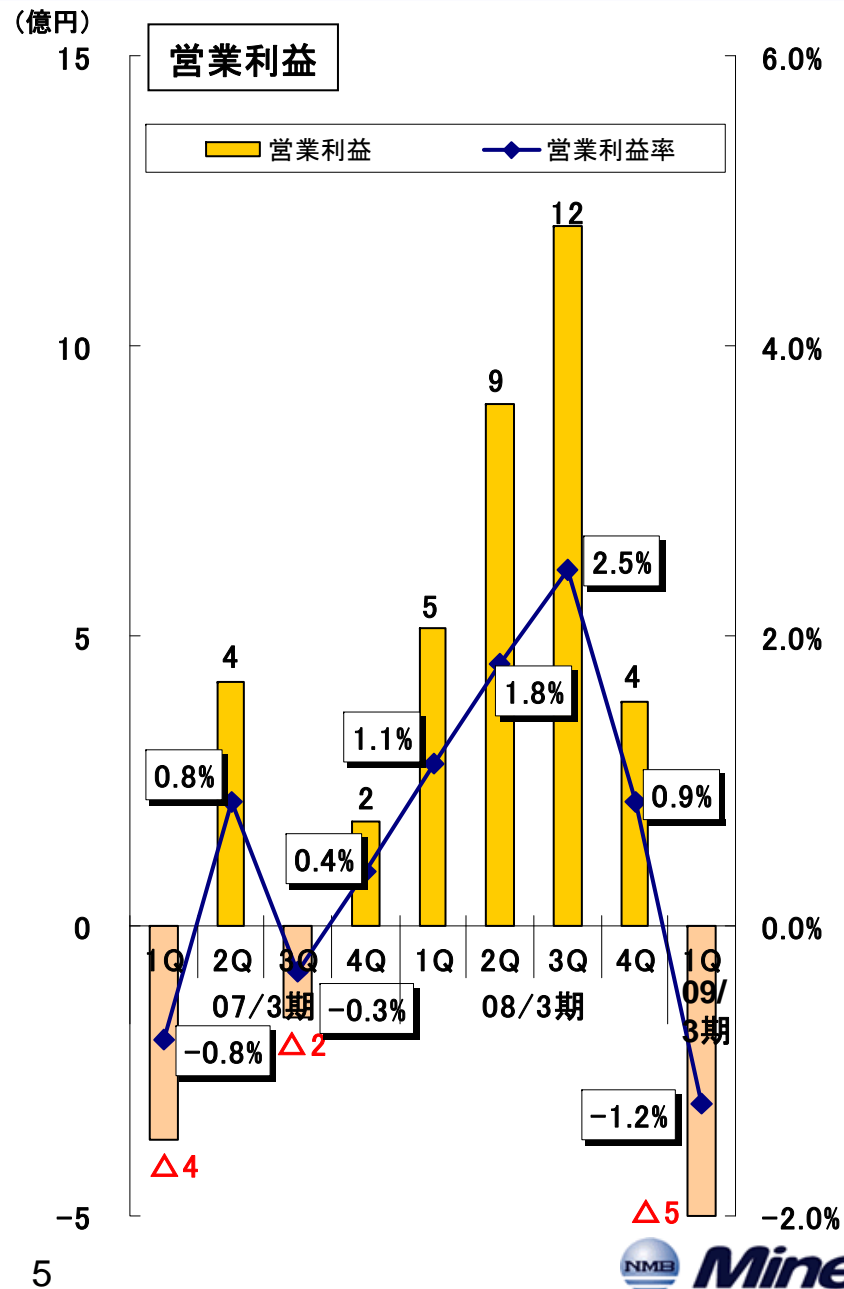


2008年7月31日

セグメント別四半期推移 電子機器事業



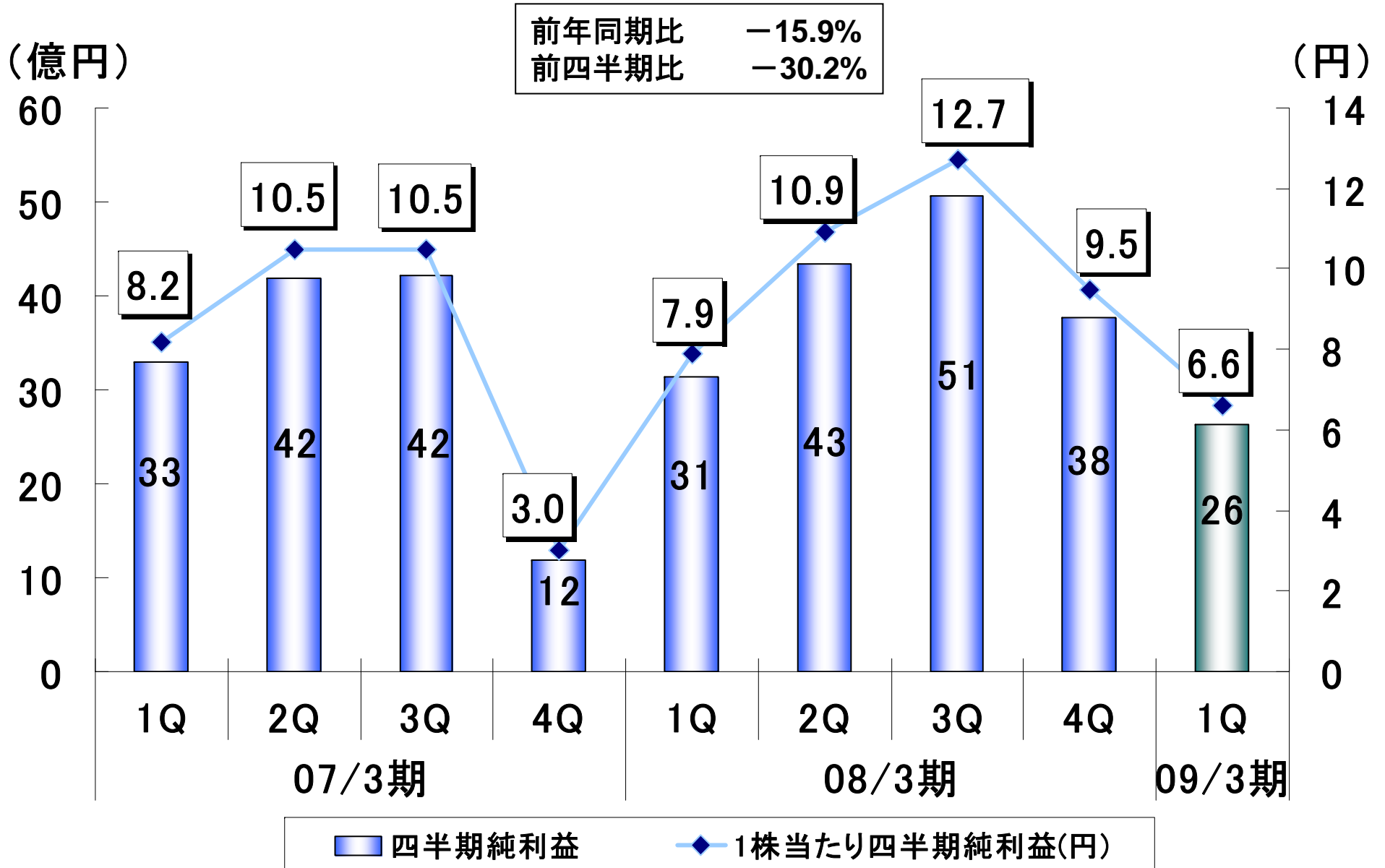
2008年7月31日



5

四半期推移

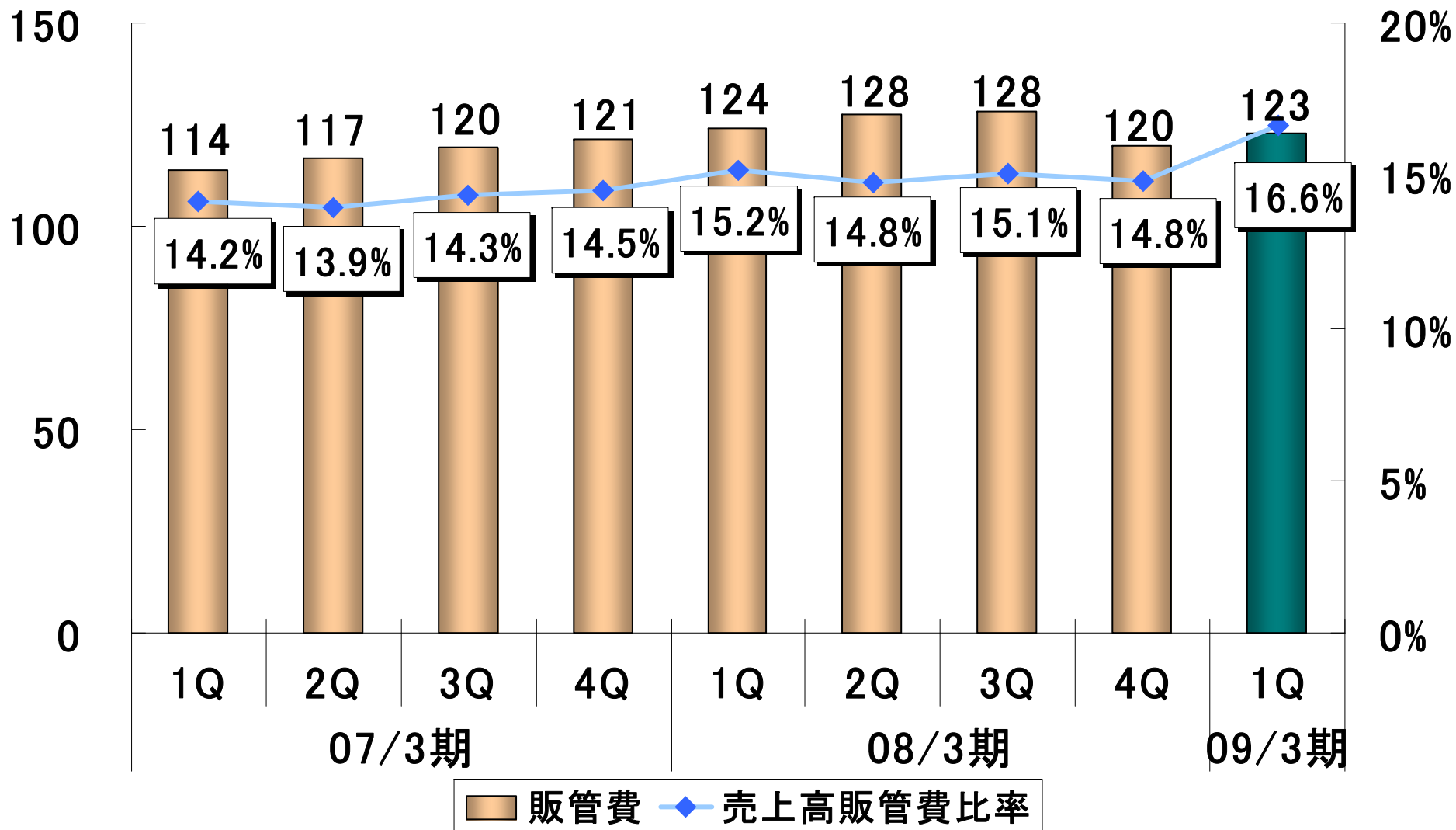
四半期純利益



四半期推移

販管費

(億円)

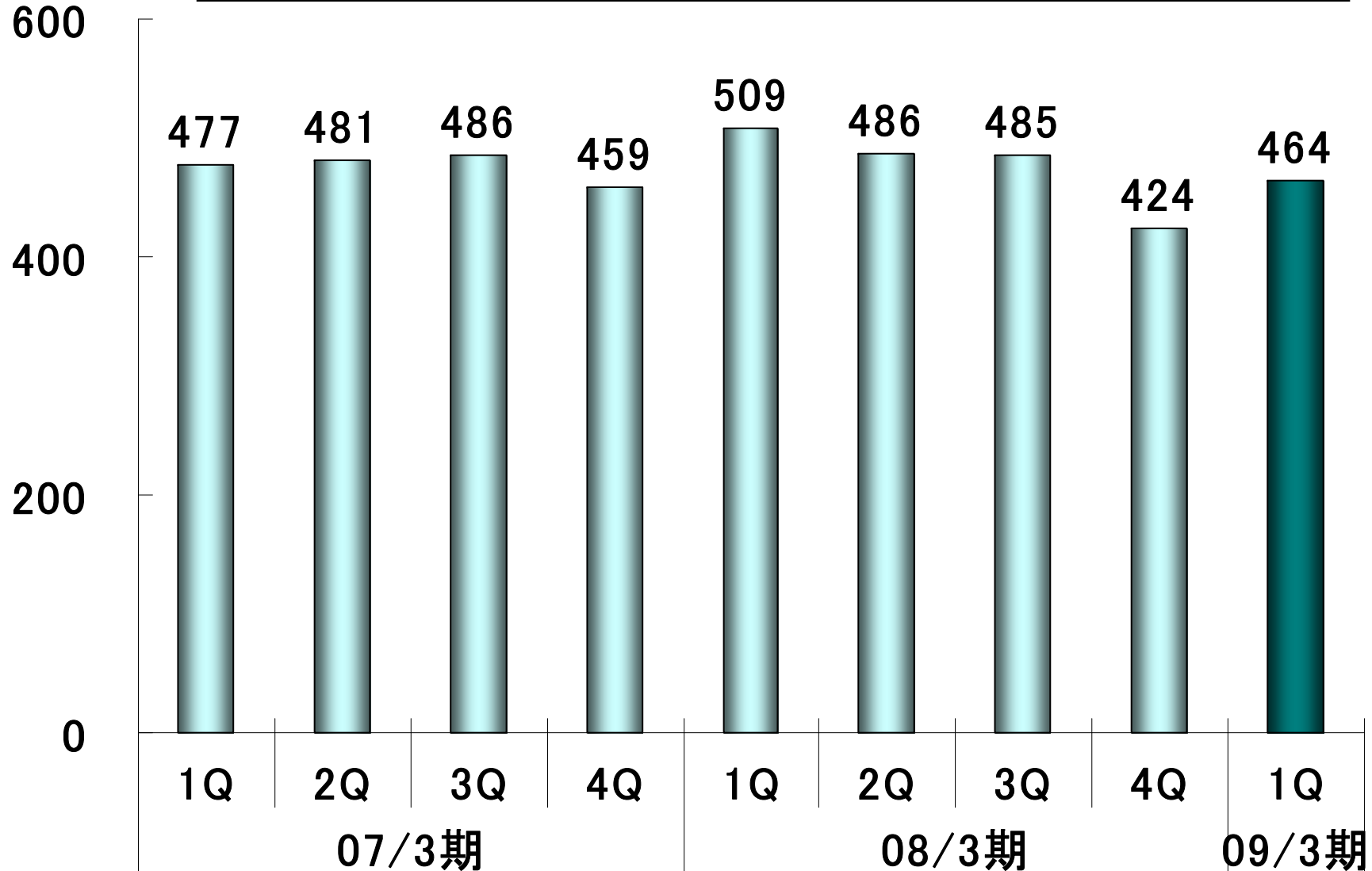


四半期推移

たな卸資産

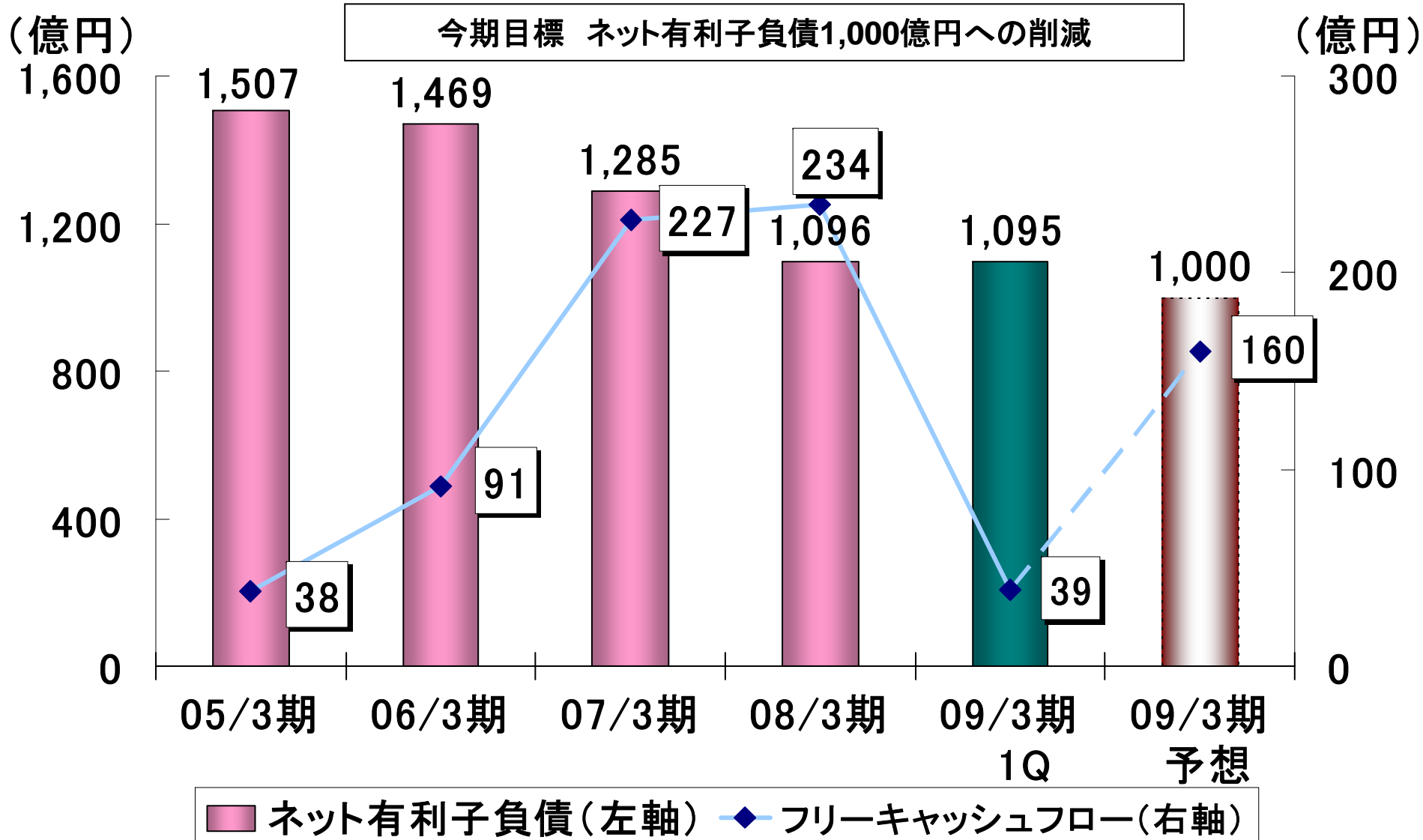
(億円)

為替影響16億円に加え、需要期に向けた在庫の積み増し



年推移

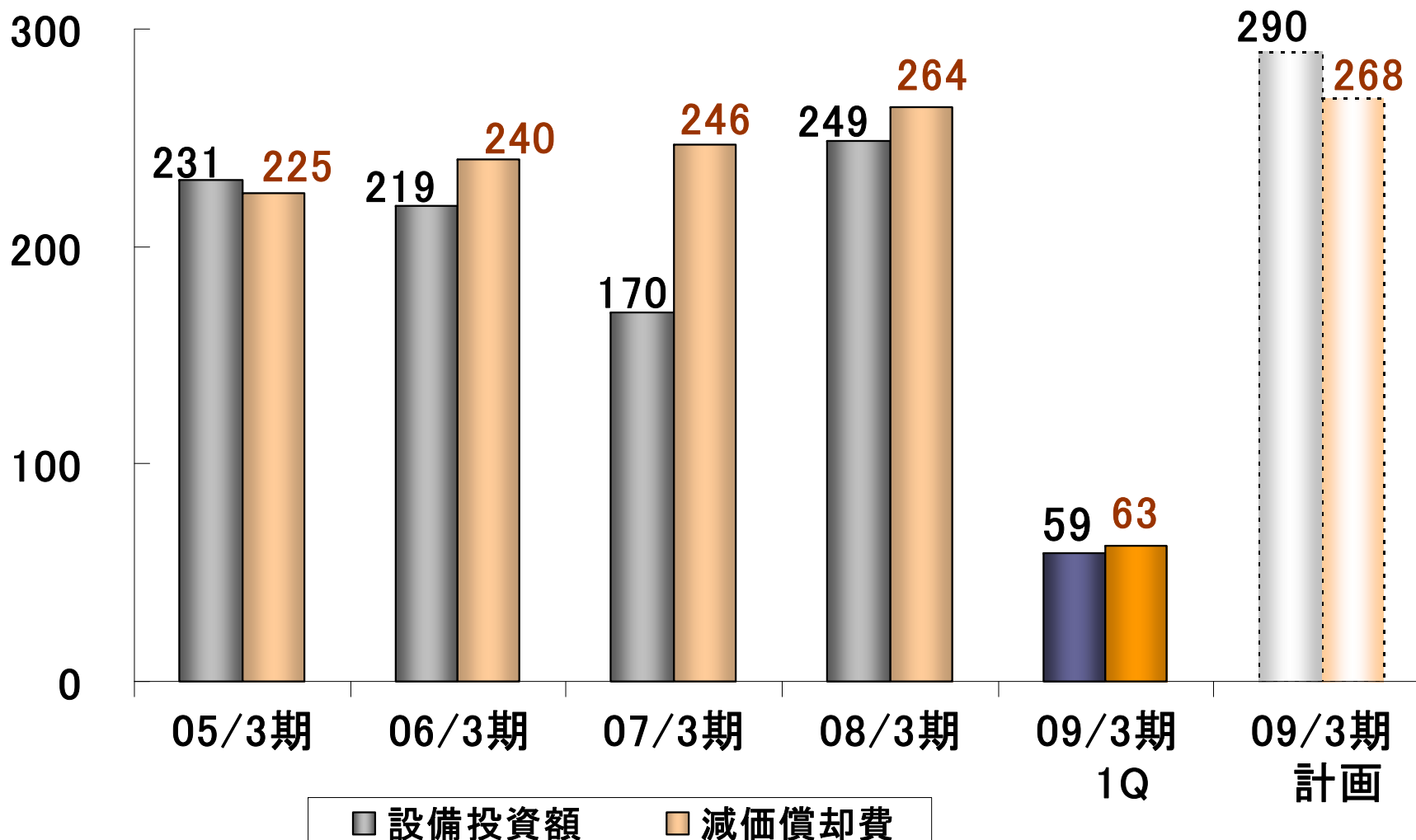
ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

年推移 設備投資額・減価償却費

(億円)



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

業績見通し

当初見込みは変更致しません

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	2009年3月期計画			
	通期	1Q	上半期	上半期進捗率 1Q/上半期	通期	前期比
売上高	334,431	74,041	162,000	46%	330,000	-1.3%
営業利益	30,762	5,083	15,400	33%	32,000	+4.0%
経常利益	27,691	4,685	14,100	33%	29,500	+6.5%
税引前利益	25,254	4,057	13,500	30%	28,500	+12.9%
純利益	16,303	2,635	8,100	33%	17,000	+4.3%
一株当たり 純利益(円)	40.86	6.60	20.30	33%	42.61	+4.3%

為替レート	08/3期	09/3期想定	備考
US\$	115.29円	105.00円	()内は、タイ中央銀行発表オンショア・レート。 タイの短期資本流入規制は、2008年3月に撤廃されたため、これ以後、オンショア・レートとオフショア・レートとの大きな乖離は存在しなくなりました。
ユーロ	162.18円	163.00円	
タイバーツ	3.70円 (3.39円)	3.40円	
人民元	15.40円	14.90円	

タイのボールベアリング新工場

◆ミニチュア・ボールベアリングの成長

→引き続き、中期的には年率5%以上の数量成長を見込む

◆省エネ省資源の切削工程専用工場を新設(2008年5月完成)

◆業界最高の品質水準とコスト競争力の強化を目指して

◆エネルギー多消費型の切削工程を集約

→ 新工場への集約と、より効率的な空調

などにより、年間電力使用量の4割削減

(当社既存工場比較)を目指す

→ 切削油回収効率化や、水資源の再利用

強化により、省資源化を更に進める

→ 次の海外生産拠点拡大が容易に

◆生産能力: 完成品ベースで当初1千万個/月

→ 最終的には3千万個/月を見込む



ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。